

「イヤ!」を積み重ねて、 たくさんの発見と経験をしていきます!

言葉も感情表現も未熟な子供は、「イヤ!」という言葉を使って自分の思いを表現します。この経験と発見を積み重ねて、たくさんのことを学んでいきます。

教えて!トマト先生!!「いやー」は「こころ」が育っている証拠

好奇心旺盛なこの時期は、「自分でやってみよう」という行動が繰り返されます。そのことによって「できた」という満足感を得て、今度は「何でも自分でやりたい」という欲求が芽生えます。「いやー」「自分でー」と急に泣き出したり癩癩かしくを起こしたりすることもありますね。一見すると反抗しているようにも見えますが、実は、「こころ」が育っている証拠なのです。「なぜそんなにこだわるの?」とイライラすることもあるでしょう。そんな時は、「じゃあ、どうする?」とゆったりした

気持ちで寄り添ってみてはいかがでしょうか。子供は、周りの人と関わることで自己をコントロールする力が育ちます。そのうち「あれはいついた何だったの?」と笑える日がきます。子供の育つ力はすごいですね。

富田 雅子 先生

岩国短期大学幼児教育科 准教授
愛称は、トマト先生/研究分野は、幼児教育学、保育学、子育て支援/保育、子育て支援等に関する研究多数



先輩パパママ おすすめの本



前から読むと子供がイヤイヤするシーンが、後ろから読むとほめてあげたいシーンがいっぱい。「あなたのことが、まるごと大好き!」と子供に伝えたい本です。

「いるよね〜! こんなの」
著者:宮里暁美:監 たかひよしかず:作 主婦の友社



ルルちゃんが「いやだいやだ」と言っていると、お母さんも、おひさまも、ぬいぐるみもイヤイヤと言いだして大変!自分の子供の名前に変えて読んでいました。

「いやだいやだ」
せな けいこ 作・絵 福音館書店

お家での子育てと教育をサポートします/
子育てのコツなどを見よう!

親子コミ ひろしま

検索



広島県の取組や家庭での過ごし方を掲載!

子育て・家庭教育 広島

検索



いろいろな場面をテーマに遊びや生活の中に
学びがあることをお伝えしていきます。



「遊び」は「学び」

「遊び」のなかに「学び」がいっぱい!



子供にとって 遊びや日々の生活の 全てが学びです!

「遊び」は子供にとって探究の宝庫。遊びの中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、失敗を乗り越えること、人と関わることが、主体的に学び続けることにつながります。



イヤイヤ期にも 「学び」がいっぱい!

シーン1 自分で!自分で!

おおむね
1歳頃
から

感じる・
気付く
力

うごく
力

イヤイヤの
始まりかも…



自分でやって
みたいんだね

あの服、
着たかっただね!

あの
お気に入りの服
かわいいもんね…

シーン2 この服はイヤ!

おおむね
1歳半~
2歳頃

大人が感情的になると逆効果になる場合があります。子供の気持ちを受け入れて、言葉にしてあげると少し落ち着くかもしれません。

毎日同じ服だと
洗濯できないよ!

考える
力

やりぬく
力

イヤだ!
あの服じゃないと
着ない

ポイント



「イヤイヤ期は自我の芽生え」

小さな子供が大きな世界に体当たりで自分を確かめていく、「自分探し」の大切な時期です。本当にイヤ!なわけではなく、自分の気持ちを受け入れてくれるか、確かめているのかもかもしれません。



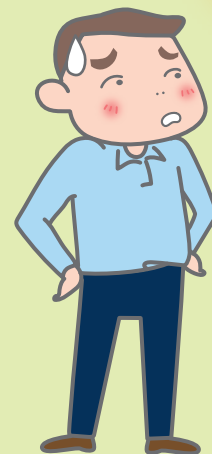
シーン3
今日は買わないって言ったのに…



向こうで風船が
もらえるだって。
早く行ってみよう!

なんでダメなの?

買ってくれないと、
帰らない!



お家にある
お菓子を食べてから
買おうね!

お菓子を買ってほしいと、
その場から動こうとせず駄々をこねる

考える
力

人と
かわる
力

おおむね
2歳半~
3歳頃

本人が納得できるように言葉をかけてみましょう。子供の目線に立ち、気持ちを切り替えてあげるといいかもしれませんよ。

予告編 ま、いっか!

おおむね
3歳頃
になると

自分の気持ちに折り合いがつけられるようになり「ま、いっか」と思えるようになると、そろそろイヤイヤ期も終わりかも…。

う〜ん…
ま、いっか!

今日は
この洋服でも
いいかな?



イヤイヤ期 ≠ 親のイライラ期

感情的になって親がイライラすると、子供もイライラして悪循環になります。「イヤイヤ期=親のイライラ期」にしないために、子供の目線に立って共感してみましょう。